



# 可也人権だより

# 1

JUN 2023

糸島市人権・同和教育推進協議会 可也支部事務局 しまてらす TEL/FAX 327-1734

## 可也小学校6年生

## 人権標語作品 入賞作品

前号に掲載した可也小学校6年生93名の人権標語作品。今年も心打たれる素晴らしい作品が集まり、審査員全員、とても感動しながらも、入賞作品を決めるのに苦慮しました。

2名を最優秀賞、3名を優秀賞とし、12月3日、人権映画祭の冒頭で表彰式を行いました。受賞者5名を紹介します。

### 最優秀賞

あいさつは みんなをつなぐ 心のわ

高宮 めばえさん

### 最優秀賞

認め合い 大事にしようよ その個性

崎本 みはるさん

### 優秀賞

気づこうよ きこえぬ叫び 見えぬきず

森田 そうまさん

### 優秀賞

『大丈夫』 その一声で 元気になる

清正 とうまさん

### 優秀賞

陰口は いじめに変わる 一步前

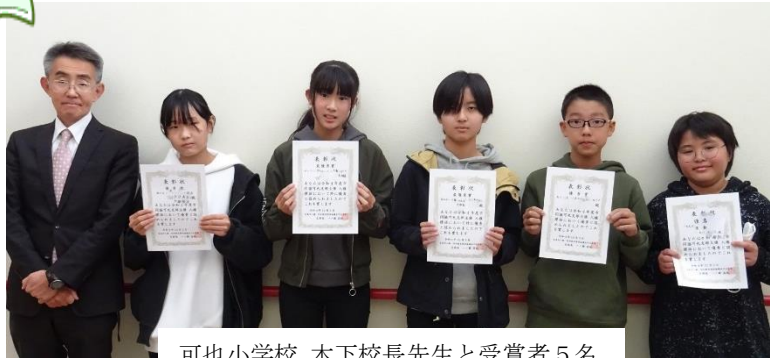
小澤 さやさん

### 入賞 5 作品

### 可也山山頂に掲示



可也山山頂にも5作品が掲示されています。



可也小学校 木下校長先生と受賞者5名

## 12月3日、街頭啓発活動も実施しました。

人権週間に合わせて、イオン糸島ショッピングセンター・スーパービバホーム志摩店の駐車場で、街頭啓発活動を実施しました。当日は、ウェットティッシュを配布しました。ご協力ありがとうございました。



イオン糸島 入り口付近

## 人権映画祭

上映作品

## お終活

12月3日(土)実施

熟春! 人生、百年時代の過ごし方

人権映画祭がふれあいで開催されました。映画「お終活」上映中、会場は、笑いに包まれ、また、最後には涙されている方も見受けられました。多くの方にご来場いただきましてありがとうございました。

## 感想

映画の感想をいくつか紹介します。

最近、友だちと終活の話をしたので、このタイミングで映画を観ることができ、いろいろ教えさせられました。

挿入歌が懐かしく、亡くなった主人との思いでが重なり、涙がとめどなく流れました。

これからの終活に向けて、とても勉強になりました。

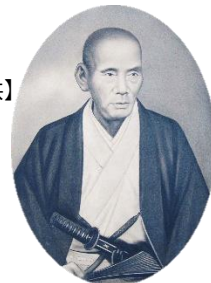
今年、金婚式を迎えた者として、大変楽しく拝見しました。

終活について考えないと!



# フィールドワーク 2022

伊東玄朴肖像画  
【神埼情報館提供】



おおき循環センターくるるん・筑後川昇開橋展望公園・神埼情報館

11月18日(金)、筑後方面へ視察研修に行きました。

今回の研修では、主なテーマとして「持続可能な社会」「先人の知恵と努力」を学ぶ研修となりました。

おおき循環センターくるるんでは、「生ごみの分別」を重点的にゴミの減量に取り組む「環をつなぐ地域社会システム」について学びました。分別した生ごみは、液肥となり、町の田畑へ還元されるそうです。

筑後川昇開橋展望公園では、日本三大暴れ川の筑後川流域で生活を営むために先人達がオランダの技師デ・レーケの指導のもと、導流堤を築いたことや、昭和初期に作られた昇開橋について学びました。

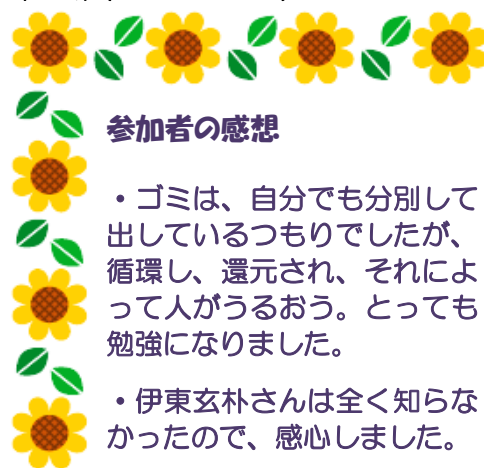
神埼情報館では、神崎市出身・江戸後期の感染症治療に尽力した蘭方医 伊東玄朴(いとうげんぼく)の生涯について学びました。



大木町は、生ごみだけでなくオムツの分別も行っているそうです。



昇開橋が上がっていくところを間近で見学しました。



## 参加者の感想

・ゴミは、自分でも分別して出しているつもりでしたが、循環し、還元され、それによって人がうるおう。とっても勉強になりました。

・伊東玄朴さんは全く知らなかったなので、感心しました。

## 思いを込めて.. ひまわりの種とばし

11月8日(火)、可也小学校運動場で、ひまわりの種を風船と一緒に飛ばしました。このひまわりの種は、可也小児童3年生が種から植えて育てて収穫したものです。やさしい気持ち・人やものを大切にしている気持ちや思いを込めて、一斉に飛ばしました。この日は天候もよく、風によって各地に3年生105人の思いが届いたことでしょう。

### 可也小学校 3年生の感想より

人KENあゆみちゃんも参加しました!

八女市黒木町や、大分県などから返事が届いたそうですよ!

たねをとばしてどうすると思いましたが、色いろなばしょにおちて、色いろなものがとどいてくるなんて、じんけんと花ってすごいなと思いました。

私がかんばったことは、ふくろづめです。気持ちをこめてメッセージを書きました。人けんようご委員の人たちありがとうございました。



風のにり空高く飛んでいったひまわりの種

## 行政区人権研修会 8050 問題とは ~薫る坂~

12月4日(日)薫る坂会館で開催



薫る坂行政区で高齢化社会におけるひきこもり「8050 問題」について学ぶ研修会が開催されました。ひきこもりを題材にしたドラマを鑑賞したあと、意見交流が行われました。

8050 問題について話しをする吉原指導員

## 8050問題って?

「80代の高齢の親と50代のひきこもりの子」という意味合いから本人を取り巻く様々な問題が原因で、いわゆる「ひきこもり」になった子。そのひきこもりが長期化し、子の年齢が高齢になる(50代)。子の生活を支えていた親も高齢(80代)となり、家庭の収入が途絶えたり、親の病気や要介護状態になったりして経済的に孤立・困窮するなどの問題が起こっている状態。年々、全国的に社会問題となっている。

【KHJ 全国引きこもり家族会ウェブサイトより】